

会議議事録

事業名	平成26年度 「職業実践専門課程」の推進を担う教員養成研修モデルの開発・実証
代表校	一般社団法人 全国専門学校教育研究会

会議名	第2回 アクティブラーニング分科会																																	
開催日時	平成26年10月30日(木) 16:30~18:30																																	
場所	メディアボックス A会議室 〒160-0023 新宿区西新宿1-9-18																																	
出席者	<p>①委員</p> <table border="0"> <tr> <td>岡村慎一</td> <td>専門学校YICグループ</td> <td>理事</td> </tr> <tr> <td>伊藤慎二郎</td> <td>学校法人穴吹学園</td> <td>理事・副校長</td> </tr> <tr> <td>小林昭文</td> <td>AL&AL 教育研究所</td> <td>代表</td> </tr> <tr> <td>三谷徹男</td> <td>株式会社CRI 中央総研</td> <td>代表取締役</td> </tr> <tr> <td>信岡誠三</td> <td>穴吹医療福祉専門学校</td> <td>副校長</td> </tr> <tr> <td>長谷川綾子</td> <td>富山情報ビジネス専門学校</td> <td>学科長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計7名</p> <p>②オブザーバー</p> <table border="0"> <tr> <td>小野紘昭</td> <td>(財)職業教育・キャリア教育財団</td> <td>理事</td> </tr> <tr> <td>永井真介</td> <td>富山情報ビジネス専門学校</td> <td>校長</td> </tr> <tr> <td>飯塚正成</td> <td>有限会社ザ・ライスマウンド</td> <td>開発実証委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計3名</p> <p>③事務局</p> <table border="0"> <tr> <td>下島耕一</td> <td>鹿児島情報ビジネス専門学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>飯塚久仁子</td> <td>有限会社ザ・ライスマウンド</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計2名</p> <p style="text-align: right;">参加者合計12名</p>	岡村慎一	専門学校YICグループ	理事	伊藤慎二郎	学校法人穴吹学園	理事・副校長	小林昭文	AL&AL 教育研究所	代表	三谷徹男	株式会社CRI 中央総研	代表取締役	信岡誠三	穴吹医療福祉専門学校	副校長	長谷川綾子	富山情報ビジネス専門学校	学科長	小野紘昭	(財)職業教育・キャリア教育財団	理事	永井真介	富山情報ビジネス専門学校	校長	飯塚正成	有限会社ザ・ライスマウンド	開発実証委員	下島耕一	鹿児島情報ビジネス専門学校		飯塚久仁子	有限会社ザ・ライスマウンド	
岡村慎一	専門学校YICグループ	理事																																
伊藤慎二郎	学校法人穴吹学園	理事・副校長																																
小林昭文	AL&AL 教育研究所	代表																																
三谷徹男	株式会社CRI 中央総研	代表取締役																																
信岡誠三	穴吹医療福祉専門学校	副校長																																
長谷川綾子	富山情報ビジネス専門学校	学科長																																
小野紘昭	(財)職業教育・キャリア教育財団	理事																																
永井真介	富山情報ビジネス専門学校	校長																																
飯塚正成	有限会社ザ・ライスマウンド	開発実証委員																																
下島耕一	鹿児島情報ビジネス専門学校																																	
飯塚久仁子	有限会社ザ・ライスマウンド																																	
議題等	<p>1. 実証・開発委員会の議事報告 伊藤委員</p> <p>2. アクティブラーニングについて ピア・ラーニングの実践授業の映像を見て説明 教育研修プログラムについて 小林委員</p> <p>配布資料 前回議事録 アクションラーニングを用いたアクティブラーニング型授業を実践する教員養成の為の計画 大学におけるアクティブラーニング調査報告</p>																																	

説明内容の概要としては、以下の通り。

① 実証・開発委員会の議事報告 伊藤委員

10月23日に開催された開発・実証委員会と評価委員会の合同委員会での報告と、今後のスケジュールに関する報告及びアクティブラーニングの定義について再度説明する。

②アクティブラーニングについて 小林委員

ピア・ラーニング実践授業の映像（麻生塾の介護の学生に対する物理の授業）約12分間を見た後に、意見交換が行われた。

教師の介入スキルが難しい 命令はダメ 「何々してね」もダメ

質問のみで介入 チームに質問（個人に向けての質問はダメ）

コンテンツ（例題）の説明はいらない

コンテンツ（例題）の説明は学生にとって、受け身にしかない

問題と解答を学生に渡すことで、学生はなぜその答えになるのか推論していく途中の数式も学生が考えるようになる。結果、能動的な授業になる。

課題として、コンテンツの説明を省くことには、批判的な意見が多い

しかし、結果として学生の理解度が高まることのほうが効果的である。

ポイント

- ・グループ分けは自然発生が良いので、教師が良かれと思ってリーダー役やお荷物担当を均等に分けてしまうと、そのグループでの役割が決定してしまい、将来のためにならない。
- ・グループでの役割は何も存在しない、せいぜいタイムキーパー程度
- ・学生は教室内であれば、立ち歩き自由である
- ・リーダーシップとは人を巻き込むことで、チームが目標に近づいていく。
- ・質問会議が続くことで、学生の質問力が向上していく
- ・最近の学生（特に女子）はワイワイガヤガヤしているのが、良い雰囲気グループと思っている。実際は、みんなが自分の意見を聞いてくれるこの時間が心地よい時間と感じるようになる。黙って聞いてもらえると、より良い意見が出てくる。
- ・コンテンツの説明はしない、説明は指導になる 自分たちで解決していく
- ・学生は教師が指導してくれるものと思っているが、自己成長のためには指導はしない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの流れ（目標）を設定している ・質保障のため、ふりかえりでのテストは満点を目標にする ・枠組みは大切である。ファシリテーションスキルも大切 ・自由度（態度目標）を目標にすると学生は応えてくれる <p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦山学園の長谷川委員より 医療事務学科・ホテルブライダル学科の学生に、アクティブラーニングによる検定対策授業を行った。 秘書検定・サービス接客検定にて、合格者が3倍になった。 また、遅刻・欠席・忘れ物が多いことから、クラスのルールを学生自身で作らせたところ、教師が叱るよりも効果があると感じている。 <p>質問</p> <p>授業評価項目とリンクできるのか？</p> <p>「私語が多い」という指摘に対しては、問題解決のための相談や討議なので、私語ではない。</p> <p>理解度が上がれば、学生の満足度もあがる この二つがすべてである</p> <p>コンテンツに関する学生の質問の質を向上させるには、</p> <p style="padding-left: 40px;">質問する側の学生のそばで見本の質問をする</p> <p style="padding-left: 80px;">例：「チームで協力できていますか？」</p> <p style="padding-left: 80px;">「順調ですか？」</p> <p style="padding-left: 80px;">「どうですか？」</p> <p style="padding-left: 40px;">答える学生がバタバタして一生懸命考えて説明するようになる</p> <p>まとめ</p> <p>アクティブラーニングの良いところ</p> <p>学生は質問しあいながら、観察力があがる</p> <p>先生も授業の様子を振り返りながら成長できる</p> <p>理解度が高まることは、すなわち満足度が高まることになる</p> <p style="padding-left: 40px;">資料「アクションラーニングを用いたアクティブラーニング型授業を実践する教員養成のための計画」を使い、小林委員から実証講座に向けての説明があった</p> <p style="text-align: center;">以上のことが話し合われ、18時30分に閉会となった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---